



みやき町

2025.9月議会

No.72

ようこそ！議会へ

～議会だより～



キラリ☆ミ

みやきびと

堀 洋子さん

Contents ・主な内容・

9月定例会	2
決算報告書	8
100条調査委員会報告	11
中学生と議員の意見交換会	12
一般質問、12人が町政を問う	14
表紙写真紹介、編集後記ほか	24

各庁舎、こすもす館のテレビで、
議会中継を行っています。インター
ネットでも視聴できます。

みやき町議会中継

検索



9月定例会は9月1日から22日まで行われ、条例5件、決算認定8件、補正予算7件、意見書2件などを審議し、いずれも同意・可決しました。100条調査委員会に関する4件については、いずれも否決しました。



条例の一部改正

全員賛成

みやき町都市公園条例及びみやき町体育施設条例の一部を改正する条例

- 多目的人工芝グラウンド及び調整池整備事業による都市公園の設置に伴い、みやき町都市公園条例及びみやき町体育施設条例の一部を改正するもの

みやき町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

- 佐賀県東部環境施設組合廃棄物処理施設の共用開始に伴い、みやき町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正するもの

みやき町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

- 基幹系システムの標準化により、住登外者宛番号管理機能の利用が独自利用事務となることに伴い、みやき町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正するもの

みやき町議会議員及びみやき町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

- 選挙運動用ビラ 7円73銭(1枚) → 8円38銭
- 選挙運動用ポスター 541円31銭(1枚) → 586円88銭

みやき町税条例の一部を改正する条例

	改正概要	施行日程
個人の町民税に係るもの	○地方税法の改正に合わせて改正 ※控除すべき金額について、特定親族特別控除額を追加	令和8年1月1日
	○地方税法の改正に合わせて改正 ※特定親族特別控除の創設に伴う、個人住民税申告義務に係る規定の整備	
	○地方税法の改正に合わせて改正 ※給与所得者の扶養親族等の申告書の記載事項について、特定親族を追加	
	○地方税法の改正に合わせて改正 ※公的年金等受給者の扶養親族等申告書の記載事項について、特定親族を追加	
町たばこ税(新設)	○地方税法の改正に合わせて改正 ※加熱式たばこに係る町たばこ税の課税標準の特例	令和8年4月1日

町有財産取得

町有財産の取得

全員賛成

三根校区筑後川河川敷において、ゴルフ場を含めた利活用を行うため株式会社リバーサイド三根で所有する全ての財産を取得するため、条例に基づき議会の議決を求めるもの。

- 購入物件
 - ・クラブハウス
 - ・コース管理施設
 - ・河川敷ゴルフ場
 - ・機器類

2. 取得予定価格 1億9145万4681円

議員の視点



課長

【答】一部町有地だが民間の方から借りている。引き続き借地したい。

現在のクラブハウス・駐車場等用地はどのような対応を行うのか。

今後の対応は？



議員

今後のスケジュールは

今後の利活用方法は？



議員

ゴルフ場にこだわらず、様々な案を検討すべし

【答】ゴルフ場にこだわらず、様々な提案が出る環境をつくる。



課長

【答】早ければ年内に事業者の募集を開始する。ゴルフ場を含めた河川敷の利活用方法などを、広く民間からの意見を求めたい。



町長

みやき町議会から政府に
提出しました

全員賛成

1 地方財政の充実・強化に関する意見書
【趣旨】

地方公共団体には、急激な少子高齢化、子育て支援、地域活性化、感染症対策、DX化、脱炭素化、物価高騰対策など、多くの新しい役割が求められています。加えて、自治体システムの標準化や大規模災害への対応が進む中、地域公共サービスを担う人員が不足し、職場の疲弊が深刻化しています。

政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきましたが、増大する行政需要や人員不足を考慮し、今後は積極的な財源確保が必要です。特に、賃上げに対応するための人件費を含む地方財政の充実を求めます。

11 の項目について、意見書を総理大臣・関係各大臣に提出しました。

【項目】

1. 社会保障の充実や地域活性化、脱炭素化など、地方財政需要の増大を的確に把握し、積極的に地方財源を確保すること。
2. 子育て支援や介護、生活困窮者支援など、社会保障ニーズが高まり、自治体財政を圧迫しているため、社会保障経費を拡充すること。
3. 地方交付税の法定率引き上げや消費税の地方税化を通じて、より自律的な地方財政を確立すること。

意見書全文はこちら



人権擁護委員候補者の
推薦

全員賛成

委員の任期が令和7年12月31日をもって満了するため、議会の意見を求めるもの。

そうま けいこ
相馬 恵子氏



みやき町議会から政府に
提出しました

全員賛成

2 再審に関する法改正を求める意見書

【趣旨】

無実の人が罪に問われる「えん罪」は、決してあってはならない重大な人権侵害です。現行の再審制度は、手続きに関する明確なルールがないため、えん罪被害者の迅速な救済を妨げている。特に、捜査機関が持つ証拠の開示が保証されていないことや、再審開始決定に対し検察官が不服を申し立てられることが大きな問題となっている。これらの問題を解決し、被害者を速やかに救済するため、「再審法」を速やかに改正するよう強く求めます。
意見書を総理大臣・関係各大臣に提出しました。

意見書全文はこちら



行政視察に来られました
歓迎

静岡県小山町議会
会派「新生会」様

10月2日
「ふるさと納税の取組み」について、
質疑応答が交わされました。
双方にとって今後の課題を理解する
時間となりました。

工事請負契約の締結

全員賛成

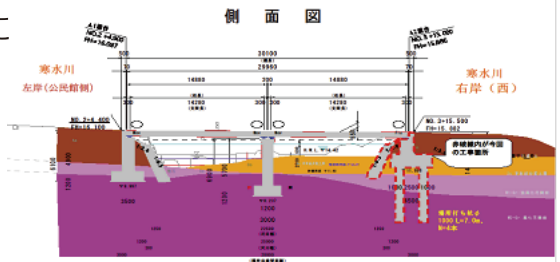
契約締結

石井橋下部工（A2 橋台）設置工事請負について、契約を締結するために条例に基づき議会の議決を求めるもの。

工事の概要

令和5年9月の大雨により被災したため、今回寒水川の右岸側に橋台の設置工事及び護岸工事を行うもの。

1. 工事名 令和7年度道路メンテナンス事業石井橋下部工（A2 橋台）設置工事
2. 契約方法 指名競争入札不落による『随意契約』
3. 契約金額 7370万円
4. 契約の相手方 株式会社 栗山建設

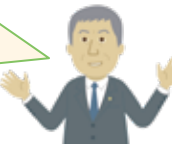


議員の視点



課長

【答】 令和7年度、右岸側橋台の設置
令和8年度、左岸側橋台設置・橋脚設置
令和9年度、桁の設置及び接続する町道の整備
現時点の計画では、令和9年度末に工事完了の予定。



議員

今回は一部の工事となっているようだが、いつ終わるの。

完成期日は？



議員

橋の設計は慎重に行うべき。1本の橋脚での工事だが橋脚なしでの設計が望ましいのではないか。

今後、設計方法も
県と検討すべきでは？



課長

【答】 道路メンテナンス事業補助金を活用する。補助率は57.2%となる。



議員

国の補助内容はどうなっているのか

工事費用は？



課長

【答】 国の道路構造基準に則っており、財政負担のことも踏まえ4mが適切だと考える。



議員

橋の幅が4mとなっているが、離合しにくく安全面に疑問を抱く5mはとるべきではなかったのか。

【答】 橋脚なしだと3000万円工事費が上がる見込みであり、国庫補助の活用を考えると最善の提案である。



課長

主な歳入

- 国庫補助金（物価高騰対応の交付金など）
- 財産売払収入（土地の売却）
- 特別会計からの繰入金（国保、後期高齢者医療、ふるさと寄附金基金など）
- 前年度からの繰越金
- 雑入（工事費負担金や精算金など）

【債務負担行為※】

今後の事業に関して、次のような契約を行うことが承認されました。

包括業務委託事業

令和8年度から令和10年度

7億4,813万1千円

※債務負担行為とは？

将来にわたる債務（支払義務）を約束するための限度額を定めておくこと。

追加

町が行う業務の一部を 外部の専門事業者に一括して委託する仕組みです。これまで複数に分かれていた業務をまとめることで、事務の効率化や経費削減、サービスの質向上を狙います。

なぜ導入するの？

1.効率化

各部署ごとに契約・管理していた業務を一本化することで、事務負担を軽減。

2.コストの適正化

複数契約をまとめることでスケールメリットが生まれ、経費の抑制が期待できます。

3.専門性の活用

外部のノウハウや最新技術を取り入れることで、町民サービスの質を高められます。

4.安定したサービス提供

長期的な契約により、人材の入れ替わりや事業継続性の課題を減らすことができます。

今回の対象業務は？

- ▶ 会計年度任用職員（非常勤の職員）からの移行予定業務
 - ・児童クラブ支援員（69名）
 - ・学校生活支援員（30名）
 - ・スクールサポートスタッフ（7名）

▶ 個別委託からの移行予定業務

- ・リサイクル分別案内業務（3名）
- ・庁舎館送業務（2名）
- ・三根保健センター管理業務（1名）
- ・学校用務業務（7名）

対象となる会計年度任用職員への対応は？

- ▶ 委託事業者に対して、現行水準の給与と労働条件を維持し、優先的に採用されるように、雇用継続を要請。また、委託事業者による説明会の開催や就業機会の紹介などを通じ、これまで培った現場の知見や人材が失われないように配慮する。

まとめ

今回の包括業務委託は、「効率化」と「サービス向上」を同時に実現する新しい取り組みです。一方で、7億円を超える大規模契約となるため、適正な執行と成果の検証が欠かせません。議会としても、町民生活に直結する業務であることを踏まえ、今後もしっかりとチェックを続けていきます。



まとめ

今回の補正予算では、物価高騰対策、子育て・教育、医療福祉、地域振興、そして将来に備える基金積立が重点的に盛り込まれました。町民生活を支える取り組みと、将来の財政安定の両立を目指す内容となっています。

令和7年度 一般会計補正予算

全員賛成

補正額は3億5457万2千円、歳入歳出の総額は166億2661万7千円となりました。主なものは次のとおりです。

主な歳出

・物価高騰への対応

国の臨時交付金を活用し、生活支援や給付金の不足分を補正。

・福祉関係

高齢者施設入所者措置費の改正や障害福祉システム改修などを実施。

・子育て支援

保育所周辺の整備工事、用地購入、学校給食費の物価高騰分を軽減。

・教育・文化

合併20周年記念文化事業、体育館の設備更新、学校管理費の補正など。

・健康・医療

中原保健センターの屋上防水や空調更新、医療費削減プロジェクトの委託事業を実施。

・観光・地域づくり

山田ひまわり園の整備補助金など地域活性化につながる取り組みを補正。

・基金積立

財政調整基金、こども未来基金、まちづくり振興基金などへ積み立てを実施。



産業建設 常任委員会 審査報告書

全て認定

報告書全文は
こちら

令和6年度 一般会計（主に産業・建設に関する部分）

令和6年度 下水道事業会計

令和6年度 工業用地取得造成事業特別会計

令和6年度 住宅用地取得造成事業特別会計



住宅使用料

定住対策で建設した公営住宅の「トマト館」の入居率が75.4%と損益分岐点を下回っており、採算上の課題が生じている。今後の維持管理費や大規模改修工事などに備え、高水準の入居率を維持すること。

有機農業産地づくり推進事業

事業化には先見性のある企画力と適切な資金調達力が求められる。しかし、現在の職員体制のみでは、専門知識が不足する懸念がある。専門的な知見を持つ外部人材を確保すべき。

下水道事業会計

令和6年度より、公営企業会計に移行した。資産・負債を注視した計画的かつ効率的な管理運営が求められる。業務の着実な実行と将来負担を見据えた下水道事業運営に取り組むことを期待する。

持丸古民家・観光農園の活用

約4反の農地が購入された。観光農園という当初の目的に固執せず、より広い視野で有効活用すべし。先進事例を調査・分析し、積極的な利活用策を講じるべき。



民生福祉 常任委員会 審査報告書

全て認定

報告書全文は
こちら

令和6年度 一般会計（主に住民・福祉に関する部分）

令和6年度 国民健康保険特別会計

令和6年度 グリーンパーク推進整備事業基金特別会計

令和6年度 後期高齢者医療特別会計



メディカルコミュニティセンター及びB & G海洋センター問題

使用料の不明金が生じるという由々しき問題が発生。問題の背景には、職員のモラル低下、法令遵守意識の欠如、管理体制の不備が認められる。全職員は公僕としての自覚を再認識し、自浄作用に努め早急に問題解決を図られたし。



メディカルコミュニティセンター利用

令和6年度にテナント使用料減免措置が終了し収入は前年度比で約31%増加となった。今後もテナント使用料に対して安易な減免措置を行わず、厳正に審査し収入の確保と安定化に努められたし。

買物支援（移動販売）

高齢者買物支援実証事業を将来にわたり継続可能なものとするため、委託事業者に対する指導・助言の強化が求められる。買い物難民である住民が喜ぶよう、仕入れ方法の工夫による経費削減を徹底させ、販売場所の再検討も促し販売・サービス提供に努めるべし。

環境整備

樹木伐採処理の委託発注にあたっては、特定の事業者へ偏ることがないよう平等性を確保し、公平かつ透明性の高い入札により適正に行うべし。



不法投棄処分

ガスボンベの不法投棄が確認された。ガスボンベの処理は大きな危険を伴うため、投棄場所の確認や処理方法の選定といった対応には細心の注意が求められる。安全確保を大前提として、行政における具体的な処理方法を十分に精査するべし。

総務文教 常任委員会 審査報告書

認定

報告書全文は
こちら

令和6年度一般会計（主に総務・教育に関する部分）



町税3税の滞納

町民税・固定資産税・軽自動車税（町税3税）の不納欠損は、税負担の公平性から安易な不納欠損処理は極力避け、滞納者の対応を見極め法的措置も視野に徹底した徴収努力を望む。

行財政運営

ふるさと寄附金基金特別会計から、12億9436万2千円を繰り入れている。10月には、ふるさと納税制度が改正されることから、多くのふるさと寄附金は望めない状況も想定される。寄附金に依存しない行財政運営に努められたし。

中原校区の固定資産税

国土調査が完了した土地については、正確な地積に基づき課税するように、次回の評価替えより検討されたし。

庁舎の分庁方式を本庁方式へ

分庁方式は維持管理が高額になる課題がある。「庁舎の在り方検討会」において本庁方式にした場合のメリットについて検討を進め、両方式の数値を比較し分かりやすく情報を伝えることを望む。

学校施設の老朽化

- 子どもたちが安全・安心に過ごせる学習環境を確保するためには
- ① 児童生徒の教育環境の維持・向上を第一に、将来の児童・生徒数の推移も踏まえた計画的な改修・建替えを推進し実現に向け努められたし。
 - ② 学校の水道は受水槽給水方式が採用されているが、公衆衛生のさらなる改善を図りより安全で衛生的な直結水道方式へ切り替えを検討されたし。



中原小学校南校舎

100条調査委員会報告

「予算増額」及び「告発」の発議
(賛成6人・反対8人・欠席1人)

否決

確認

100条調査委員会は、令和6年3月に発足し平成29年・30年度のふるさと納税返礼品納入業者選定事務等の執行についての調査を行ってきました。

委員会は、更なる真相究明をし最終報告書を作成するための増額予算（証人尋問の費用弁償や弁護士相談料など）として61万円を提案しましたが否決されました。

報告書全文は
こちら



ふるさと寄附金事業 特別委員会 審査報告書

認定

報告書全文は
こちら



令和6年度 ふるさと寄附金基金特別会計

効果的な寄附金活用を

寄附者が希望した用途を尊重し、明確で効果的な活用に努めるべきだ。

基金の取り崩しは計画的に

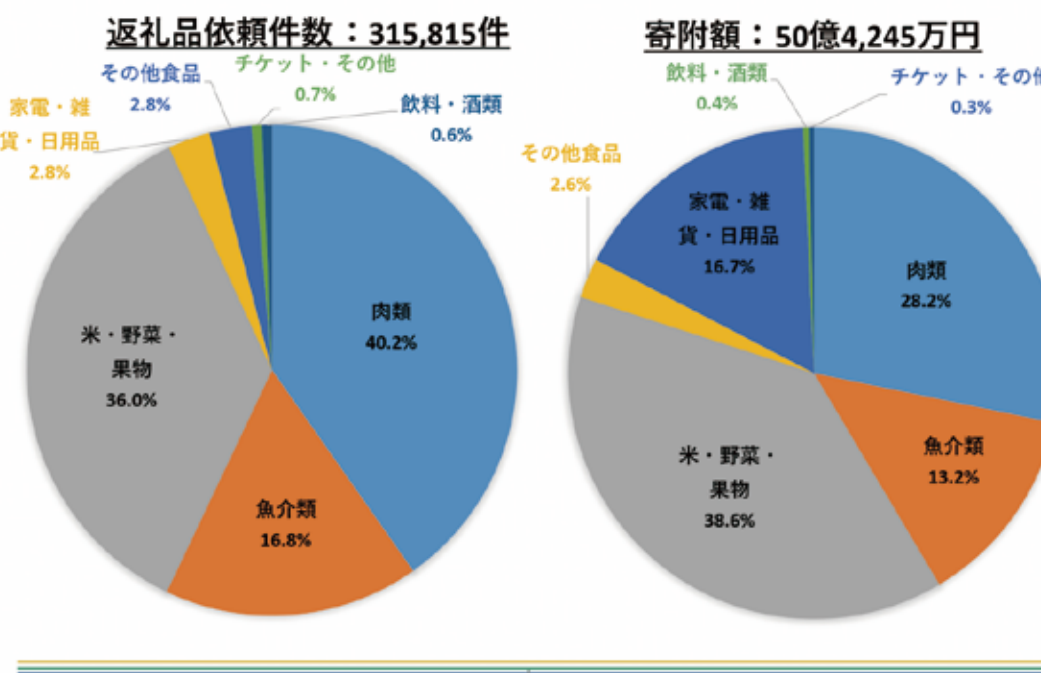
本年10月のふるさと寄附金制度の改正により、今後の寄附金も多くは望めない状況。計画的な行財政運営と財政の効率化を十分図ってほしい。

ふるさと寄附金※利活用事業

委託料

外部委託した事業の成果や、費用対効果など、定期的に検証・見直しを行い、事業の効率化を図ってほしい。

令和6年度ふるさと寄附金に係る返礼品割合



ふるさと寄附金とは？

自分の生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域や、これから応援したい！
地域の力になりたい！という思いを実現し、「ふるさと」へ貢献するための制度です。一定の条件を満たせば税の控除が受けられます。

寄附金額全体

経費（50%以下）		町の収入 （経費以外）
返礼品 （30%以下）	その他 送料 手数料など	

100条調査委員会設立のいきさつ

- 本町に寄せられたふるさと寄附金の額は平成29年度72億円、平成30年度168億円でした。
- 前町長末安伸之氏の親戚（身内）・友人・知人を役員とする返礼品事業者が莫大な売り上げを上げており、業者選定が問われていた。
- 平成30年に、元副町長を代表取締役とする返礼品会社「株式会社みねCC」を設立し、「兼業禁止」の是非が問題になっていた。
- 住民団体から実態調査を求める請願署名4025筆を添え議会へ提案されていた。

予算増額の発議の理由（こんな調査が必要です）

- 「ペーパーカンパニー」の疑念をたす。
前町長の親族を役員とする返礼品納入業者には、従業員もいない、商品配送・発送・代金請求等の業務は下請け（株）KTソリューションズが担っていた。実態解明が必要。
- 事務担当の退職した職員の証人尋問が必要。（去年は病欠を理由に欠席）
- 元副町長は「兼業禁止」は違反。町が支払った給料（税金）の返還が問われる。
最終報告で明らかにする必要がある。

反対意見

- 最終報告はいつなのか、計画性がなく、町民は引き伸ばしを望んでいない。
- これ以上何を調べるのか。時間とコストがかかりすぎ、予算は目の前にある課題に使うべき。
- 今回の増額、いたずらに公費負担があってはならない。

3法人を告発、発議

告発対象法人 一般社団法人優里・株式会社 All Miyaki・株式会社 Plan

発議の理由

平成29・30年度の法人所得税申告書・添付書類を3回にわたって資料請求を行ってきたが拒絶した。この発議は地方自治法第100条第9項「議会は正当な理由なく、記録の提出をしないときは告発しなければならない」と規定されている。議会の義務として提案した。

ふるさと寄附金事業特別委員会の構成（主にふるさと寄附金に関する事項を協議する委員会）

宮原宏典委員長、長瀬宣宏副委員長、益田清委員、目野さとみ委員、吉村哲雄委員、末次優委員

令和7年度

中学生と議員の意見交換会

中原中学校
3年生
7月10日(木)

- ・議員は学校のことについて何を提案していますか？
- ・税金は基本的に何に使っていますか？
- ・なぜお米が不足しているのに田んぼや畑をなくして家を建てるのですか？



事後アンケートではいろんな意見がでました

- ・「江見線廃止後の対応策について話し合われていることが嬉しかった」
- ・「議員さんについて気になり、議会を傍聴してみたいと思いました」「お金の使いみちや、地方議会について改めて知ることが出来た」
- ・「議員にあまり関心はなかったけど、議員の話を聞いて3年後の選挙に活かしたいと思った」
- ・「自分達がより良く暮らせるように考えてもらっていることがわかった」
- ・「議員は25歳以上からなれるので、大人になったら挑戦してみたいと思った」
- ・「より良い町にするためにたくさん考えて下さっていることに感謝しきれないと思った」

昨年に引き続き、三根中学校（2年生）・北茂安中学校（3年生）・中原中学校（3年生）を対象とし、みやき町議会と町政の仕組みについての授業を行いました。選挙権が現在18歳から与えられますが、中学生の皆さんにも、18歳を迎えられる前に政治に関心を持っていただき、また理解を深めて欲しいという思いで、各学校毎に議員が講師となり出前授業を行いました。

中学生の皆さんからいただいた質問の一部を紹介します

三根中学校
2年生
7月3日(木)

- ・議員として心がけていることは何ですか？
- ・若い人たちに伝えたいメッセージは？
- ・町のお金はどこでどのように使われていますか？
- ・江見線が廃止されたら町としてどのような公共交通機関を考えますか？



北茂安中学校
3年生
7月9日(水)

- ・議員の仕事の中で一番大切なことは何ですか？
- ・議会ではどんなことをするのですか？
- ・中学校に対して取り組まれていることはありますか？
- ・議員としてやりがいを感じている点はあるですか？





各議員の質問内容にあわせた『SDGsの17目標のロゴマーク』を掲載しています。



各議員の質問内容にあわせた『SDGsの17目標のロゴマーク』を掲載しています。

一般質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。

1人あたりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。

令和7年9月定例会では**12人**が行いました。



一般質問

一般質問

皆さんの
関心のある
テーマはどの項目
ですか？



P22～23	P20～21	P18～19
RSウイルス ワクチン助成	持丸古民家	医療的ケア児
	児童クラブ移転	JR中原駅
	地域猫活動	

P18～19	P16～17	P14～15
タクシー利用券	町長選挙公約	学校給食
	学校統廃合	B&G海洋センター 不明金
	包括業務委託	

(掲載は登壇順)

掲載内容は、質問者本人が要約し
広報編集委員会が校正したもので
す。会議録はこちら
から閲覧できます。



議員 昨年5月に岡町長始め、協議会のメンバーで東部土木事務所で要望活動を行った。所長の答弁で久留米市側と協議を行うと明言されたがその後の進捗は。

建設課長 東部土木事務所を確認したところ「久留米県土整備事務所所長及び副所長各課長と面談し、みやき町からの要望書並びに地元への思いを伝えた」と報告を受けた。また以前作成した新たな経済圏の創出に向けた基幹道路の計画を佐賀県道路課へ説明した。

豆津橋4車線化の要望を活発に

第3子以降は全額補助として対象者を拡充した。更に平成30年度からは小・中学校全児童・生徒を対象に全額補助を行っている。

議員 近年物価高騰が続いている、給食費への影響は。

教育委員会事務局長 食材の高騰等に鑑み、令和4年度・5年度そして今年の9月補正で対応を進めている。令和7年度補正後の給食費無償化の年間所要額は1億1千4百20万円となり、量と質、栄養バランスを確保できるよう対応している。

議員 今年4月、福岡市の小学校の給食でご飯とみそ汁、牛乳のほか、から揚げ一つであったとSNSで投稿され瞬く間に拡散し、市教育委員会に改善を求める意見が殺到した。北茂安中学校のPTA会議でも給食について不安の声があったと聞いている。町の給食の現状はどうなっているのか。

教育委員会事務局長 学校給食費の補助は、平成27年から小・中学校に在籍する第3子以降の給食費を全額補助する形でスタート、平成28年度からは第1子、第2子は半額補助、



北茂安中学校の給食
ボリュームのあるものになっている

問 みやき町の小・中学生の給食は万全か

答 各学校及び給食センターに栄養教諭を置き対応している



そのだ くにひろ 議員
園田 邦弘



むた ひろみ
牟田 秀文 議員

問

B & G 海洋センターと
複合施設売上金の不明は

答

警察の捜査結果を待つて
賠償等の対応をする

議員

B & G 海洋センター等の施設で不明金については警察の捜査に基づく適正な判断を町が行い住民に説明する義務がある。真相究明が必要であり厳正に対処すべきである。①なぜ事件発覚後5ヶ月間も公表しなかったのか。②内部調査の内容とその結果についてどのようなになっているのか。③警察への被害届の進捗状況はどのようなになっているのか。

メディアカル推進課長

①当初より警察の捜査結果の判明を待ち、その段階で速やかに公表する準備をしていたが、出納閉鎖を迎え、決算が確定する前に議員の皆様へ報告すべきと判断した。②事前に準備した質問項目に基づき全対象者に等しく聞き取りを行ったが、犯人と思われる人物の特定はできなかった。③警

こが とおる
古賀 通 議員

問

役場業務を民間に委託する件

答

八年度より119名を移行する

議員

社会の多様化と複雑さで町民の行政ニーズも多くなっている、組織や財政的にもスリム化が求められている中、来年度から行政の一部を民間に委託し改革を進める案が提出されている件で質問する。①異動する職員の労働待遇②民間に委託することで住民サービスが低下するのではと憂慮するがどうか。

財政課長

持続可能な行政と財政を考え八年度より106名の会計年度任用職員（1年契約）を民間に委託することに加えてシルバー人材センター等の13名の計119名を異動、内容は児童クラブ支援員・学校支援員・スクールサポーター。①待遇は給与、勤務時間、休暇は変わらず、②住民サービスは最も重要であり業務報告を通じて業務が正しく行われている

ながせ のりひろ
長瀬 宣宏 議員

問

小学校統廃合の検討は

答

効率的な行政運営に努めたい

議員

合併後の効率化は。三根東・三根西小学校の統廃合、老朽化による建て替えは

教育委員会事務局長

未来の望ましい教育環境を検討していただく「みやき町新しい教育環境づくり検討委員会」を設置し、6種類のケースの一つとして、三根東小と三根西小を集約する案をお示ししている。今後、検討委員会においてそれぞれの案の教育面や学校運営面等におけるメリット、デメリット及び費用の試算、比較等を提示し、町立小・中学校の適正規模及び適正配置などについて議論を深めていただく予定。

新設道や整備は計画的か

建設課長

建設課としての整備方針について

察が調査内容に基づき作成された被害届を確認し、B & G プールについては5月15日、メディアカルについては7月29日に提出した。捜査の進捗状況については特段の報告は受けていない。

議員 不明となった240万円の穴埋めはどのように考えているのか。

町長 地方自治法に穴埋めはしなくてはならないとなっている。警察の捜査結果を待つて、盗難となれば賠償を求め、紛失となれば私を含め管理に関わった者で責任の度合いに応じて穴埋めをやっていく。

消防車輛の配置について

議員 近年、台風や集中豪雨など大災害が頻発し、地域防災の充実、強化の重要性が求められている。みやき町でも、山間部、また、冠水の多い地域では車高を高めたり、四輪駆動の車輛を配置することができないか。

防災安全課長

大規模災害時の出勤体制確保のため重要であり、今後小型消防車輛の導入や四駆への更新の必要性を感じている。冠水の多い地区において、消防車輛の車高を高める事ができないか、現在調査中であり、高めることが可能であれば浸水区域の支部の積載車を中心に検討したい。

一灯点滅式信号機の撤去について

議員 交通信号機は、たいへん重要な機器であり、交通安全確保のうえで欠かせないものである。一灯点滅式信号機は、判断に迷い事故になりやすいとの分析がある一方で、重大事故を防ぐという意見がある。警察では、これを全国的に撤去する方針であるが、町内状況について説明を求める。

防災安全課長

一灯点滅式信号機は、町内に3か所あり事故防止に貢献しているものの、機器の生産中止や老朽化などにより、撤去する旨の通知を佐賀県警から受けたところである。撤去後は、高輝度の道路標識標示やプリンカーフラッシュ等の設置により交通事故防止対策に努めたい。

は、道路管理者として防災の視点により側溝整備を心がけるとともに、経年劣化した町道の舗装についても行っている。地区要望箇所については、評価検討委員会で評価し予算計上の要求としている。

町長

道路に関しても生活道路と基幹道路と

議員

防災対策・水害対策は。

防災安全課長 今後の対策については、ハード面につきましては、一昨年の流域治水調査業務を実施した際の一つとして提案があった調整池整備について検討を行いたい。

下水道課長

下水道整備は現在も拡大中で、接続人口も増える見込みです。また、許容量を超える無理な運転は放流水の水質悪化や施設へのダメージとなることから、施設の高める準備を現在進めています。



よしむら てつお
吉村 哲雄 議員



問 町長の選挙公約の工業団地はどうか

答 西寒水工業団地ナンバースリー

議員 町長の選挙公約を伺う。みやき町初大規模工業団地と記録があるが、現場が記録されていない。三根校区の方は、三根西の工業団地の拡大かなと非常に期待されている。地元では工業団地が来ると、地元の雇用にもなり、地域活性化にもなり非常に喜ばれる。また、新スマートインターチェンジについて伺う。

まちづくり課長 現在進めているのは、西寒水工業団地開発事業ナンバースリーである。令和8年度に開発申請、文化財調査等を行い、令和9年度に造成完了する予定となっている。新スマートインターチェンジについて現在計画等はないが、みやき町には設置出来るだけの、ポテンシャルがあると思われる。4年間の開通は期間的にかなり厳しい。



ますだ きよし
益田 清 議員



問 「ひまわりタクシー」利用券の改善策は

答 目減り分、対応していきたい

議員 タクシー事業者の料金値上げが7月から実施された。指定場所と呼んだ場合や予約時に時間を指定した際など、料金上乘せが行われている。現在、外出支援のひまわりタクシー利用助成券は好評で、不安の声が寄せられている。対応策について伺う。

町長 12月までに対応を示したい。8年度に向けて、単価で増額するかなど4案を検討している。

**放課後児童クラブ
詰め込み教室の早急な解消を**

議員 放課後児童クラブは3校区4施設で登録児童数は518名、夏休み期間は580名で増加傾向だ。どの教室も登録者数は70人を超え、酷暑のなか施設は詰め込み状態になっている。甲高い声が飛び交い支援員が目配ることができず、見守りだけの状態で趣旨・目的から乖離している。特に「しげやす児童クラブ」は夏場は今よりも酷暑になるが、子どもや支援員の体調が心配される。早急な解決策が求められる。

民生部長 「子育てするならみやき町」で定住対策を進めてきたが、空き教室が不足する状況で、現在の施設の建て替えを検討していく上ではげやす児童クラブについては、小学校との距離、登録児童も一番多く、まず先行して小学校近くに建て替えの検討に入っている。

議員 児童クラブは来年度から包括業務委託に移行する、どう変わる、会計年度任用職員職員や保護者の意見集約は。

子育て福祉課長 事業者に委託するのは児童の安全管理や保護者対応、支援員の採用や労務管理で、利用児童の入退等の決定、利用料徴収や施設整備は子育て福祉課が行う。支援員からの意見を集約し委託を理由に離職にならないよう説明し、移行を円滑にしていきたい。

議員 支援員・保護者の意見を契約・仕様書にしっかりと反映すべきだ。

町長 今より同等かい形で業務をやってくださいという仕様書になることが大前提だ。



にしむら けんいちろう
西村 健一郎 議員



問 医療的ケア児の支援体制について

答 家族全体の支援体制拡充を図る

議員 医療的ケア児とは、人工呼吸器や経管栄養など、日常生活を送る上で継続的に医療的ケアを必要とする子どもを指す。厚生労働省の推計によると令和3年度時点で約2万人に上り、15年前の約2倍になっている。医療技術の進歩により、入院から在宅医療へと移行するケースが増え家族の負担や孤立も問題とされている。こうした中、令和3年に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、自治体にも実効性のある支援が求められているが本町においてはどうか。

子育て福祉課長 医療的ケア児への支援は、大きく三つの柱で構成されている。第一に、在宅支援として居住介護・短期入所・移動支援・日中一時支援などの障害福祉サービス及び地

域生活支援事業がある。第二に、社会生活の支援として、医療型児童発達支援・医療型障害児入所施設・保育所等訪問支援・放課後等デイサービスなどが実施されている。第三に、経済的支援として、日常生活用具や補装具の給付・小児慢性特定疾病医療費助成・身体障害者手帳・特別児童扶養手当・障害児福祉手当などがある。

議員 医療的ケア児を抱える保護者は、日常的な介護や医療対応に追われ、孤立しやすい状況にある。行政の支援に加え、地域社会全体で支えていく体制づくりが求められている。保護者同士が相談や情報交換を行える場があれば、心理的負担を軽減することができる。今後、みやき町として医療的ケア児とその家族にどのように寄り添い、支援を進めていくのか方針を伺う。

子育て福祉課長 これまでの子育て支援施策に加え、障害児や医療的ケア児を対象とした事業の充実を図るとともに、受け入れ体制の整った市村清記念メディカルコミュニティセンター等を活用し、保護者同士が悩みや情報を共有できる場の提供に努める方針である。

**旧長崎街道中原宿場
『岡崎屋』について**

議員 長崎街道中原宿文化の拠点利用協議会を設立、翌年3月岡崎屋保存並びに活用に関する要望書が提出されている。進捗を伺う。

産業支援課長 町の活性化にもつながり、旧岡崎屋については、歴史的経緯文化的価値を鑑み、建物を町が取得保存し、有効活用をしていく事を、引き続き検討していく。



おか ひろあき
岡 広明 議員



問 JR中原駅の
バリアフリーの構想は

答 JR九州佐賀事業部と
協議を継続中である

議員 日常を支える駅、弱者に対するバリアフリー化及び周辺の整備について伺う。老朽化した跨線橋、ホームに屋根、エレベータの新設、地元に密着した駅舎の建替(住民票等の取扱機、ATM、売店、また北口の改札口等)の利便性の向上を計るべきである。西踏切は狭隘町道で、小中学校生徒の通学路であり、危険性が大である。JRと交渉し町道路の拡幅を早急にすべきである。

まちづくり課長 JRと協議の結果は1つ目は現跨線橋にエレベーター設置、2番・3番線ホーム幅が狭く跨線橋階段脇の通路幅が基準に適合していない・2つ目は駅舎を東側に移設し上り線にスロープを設置は可能だがスロープ内に遮断機等の設置が建築限界内に設置することは不可能です。3つ目は3番線路を北側に1m移動させることは可能だが支障物の移設、架け替え等費用がかさむ。他の可能性は2番線の廃止の検討を進めればエレベーター設置等可能である。但しダイヤの改正が必要で検討頂いている。

町長 ここ2年くらいJR事業部と技術的な打合せがかない議論が煮詰まってきた。今後議会、地域住民の様々な御意見を賜りながら進めたい。



(疲れないホームへは)

ため池の浚渫老朽化対策は

議員 流域の大きな河川に恵まれない地域等に農業用水を溜めるため人工的に造成された重点ため池がある。(町内28ヶ所)土砂等が流れ込み堆積し浚渫を早急にまた漏水等による堤体の修正はいつ頃か。

農林課長 今年度迄4年間、防災重点農業用ため池の堤体等の劣化状況評価、豪雨耐性評価等実施している。評価結果が完了後、整備についての計画策定を進め併せ浚渫も実施を考える。



すえつぐ ゆう
末次 優 議員



問 地域猫活動における
福祉分野との連携強化を

答 連携を強化し住環境の
向上を図る

議員 地域猫活動(TNR活動)の現状と実績は *TNR活動とは：地域猫を一時保護し、不妊、去勢手術を実施し元の地域に返す活動

住民環境課長 令和2年度から開始し累計732頭の実績となっている。本年度は8月末で72頭となっている。

議員 ボランティア活動に携わる中でも「もう少し早く相談してもらえてたら」と感じることも多い。労力、費用の軽減を目指し福祉分野との連携を強化するべき。

住民環境課長 部局間の連携を柔軟に行い多頭飼育崩壊や飼い主である住民が困っている情報を早急に察知し適切な支援を行い住環境の向上を図る。

総合計画の見直しは

議員 総合計画とは、地方自治体が将来の目標を定め、実現に向けた取組を示すまちづくりの基本となる計画であり、今こそ力を入れるべきだ。令和6年度は前期計画の見直し時期だが見直しの内容は

総務課長 大幅な見直しはなく、表現の修正や取組の整理を行い35か所の修正を行った。

議員 今みやき町が提供している公共サービスは、現役世代の皆様からの負担だけでは足りず、町債(借金)という形で将来世代からの前借りで賄っているのが現実だ。現状が明らかにのに基金(貯金)を取り崩さないと収支が取れない状況だ。投資的経費が増加することを見据えて財政運営を行う必要があると言いつつ、中長期財政推計の中に組み込んでいないのは理解できない。どのようにお考えか

財政課長 今年度の中長期財政推計に学校施設等の老朽化対策事業に係る経費は計上していない。方向が示された段階で反映させていきたい。

議員 財政問題は切り離して考えることはできず納得はできない。町長の考えは。

町長 財政課とは協議を行っており10年以上先20年先、30年先を議論する為の推移値を設けたい。



みやらは ひろのり
宮原 宏典 議員



問 しげやす児童クラブ
早急に移転を

答 移転は議会に諮り
前向きに約束

議員 平成26年、しげやす児童クラブ・児童館が学校から1km離れた所に建設される計画は議会において大変議論された。学校からの下校中にこれまで事故はないか。学童の児童数が増加し、社会福祉協議会の一部の施設を使用している状態と伺っているが、児童一人当たりの面積に問題はないか。

子育て福祉課長 児童を安全に児童クラブに迎えるため、安全安心町づくり町民会議職員・支援員の尽力で下校中は無事故である。施設の利用者の増加で児童館や社会福祉協議会の一部を借りて対応しており、児童館には児童厚生員の資格をもった職員も3名おり落ち着いて過ごせる環境の確保に努めている。

議員 1km離れた道のりを1年生が通うには

酷である、児童クラブ一人当たりの面積の確保は、児童館や社会福祉協議会の一部を使用する対応ではなく、十分な面積の施設を提供すべきである。他の校区の児童クラブは、学校施設内に建設しており、他の市町も同様である。早急に移転を考慮すべきだ。

子育て福祉課長 今後も利用者人数の増加が想定されるので、他の施設を使用するのではなく、児童クラブの安全を確保して健やかに過ごせる環境を整備していく。

議員 町は財政的に厳しいが、しげやす児童クラブの移転を早急に検討せよ。

町長 移転は前向きに検討していく。将来的に、議会に諮っていく事を約束します。



児童クラブへ向かう子どもたち



問

持丸古民家の利用計画対策は

答

気軽に立ち寄れる施設にしたい

議員 古民家も完成して数年が経過したが、まだ、町民の皆様には周知されていないように思える。色々なイベントを開催してもらいたい。



古民家室内の様子

問

RSウイルスワクチンに助成を

答

みやき町独自の助成は困難



議員 RSウイルス感染症は2歳になるまでには感染すると言われ、大人も含め高齢者に重症化リスクが高く予防する有効な手段にワクチンがある。しかし、任意接種であり、費用が2万5千円から3万円と高額。希望する町民にとって大きな経済的負担となり、接種を諦めてしまうケースも少なくない。町民の健康と命を守るため、独自の助成制度導入を検討する考えはないか伺う。

健康増進課長 国において、定期接種化に向けた議論が令和6年3月より開始された。現在、ワクチンの有効性、安全性、および費用対効果について、慎重な検討が進められている。このような国の動向を踏まえ、みやき町と



産業支援課長 ミニ同窓会や、お祝い事、会議等、交流、学習の場として利用は徐々に広がっている。今後も、古民家の利用が増加するよう努めていく。

議員 古民家周りの農地の状況はどうか。

産業支援課長 4、366平米あり、今後、古民家と一体的に運営管理を行っていききたい。

みやき町の防災計画について

議員 近年、ゲリラ豪雨、線状降水帯が多発しており、1時間100ミリ超えの雨量とよく耳にするが、みやき町に発生した時の対応は。

防災安全課長 排水ポンプ車2台購入し、大雨に備えている。また、気象台などの関係機関と連携をとり、早期の避難所開設や避難情報の発令に努める。

建設課長 三根校区については、佐賀県東部土木事務所が9河川について管理している。河川において異常が発生した場合は、現地状況を把握し河川管理者に報告する等、速やかに対応したい。

問

RSウイルスワクチンに助成を

答

みやき町独自の助成は困難



議員 RSウイルス感染症は2歳になるまでには感染すると言われ、大人も含め高齢者に重症化リスクが高く予防する有効な手段にワクチンがある。しかし、任意接種であり、費用が2万5千円から3万円と高額。希望する町民にとって大きな経済的負担となり、接種を諦めてしまうケースも少なくない。町民の健康と命を守るため、独自の助成制度導入を検討する考えはないか伺う。

健康増進課長 国において、定期接種化に向けた議論が令和6年3月より開始された。現在、ワクチンの有効性、安全性、および費用対効果について、慎重な検討が進められている。このような国の動向を踏まえ、みやき町と



としては、現時点では町独自の助成を行うことは困難であると判断している。

町長 ワクチンは高額で、助成してあげたいのは山々だ。しかし、国としては、安全性や症例は確認中であり、副作用のリスクを負ってでもやるべきだという判断をしていない任意接種に対して、町が後押しすることに関して、慎重になるべきではないか。厚生労働省の動きを見ながら、安全のバランスを担保していききたい。

避難所の安全性向上について

議員 近年、全国的に豪雨災害や地震が頻発。町においても、気候変動による大規模な災害リスクは高まっている。特に、山間部における土砂災害や、筑後川の氾濫による外水氾濫、そして内水氾濫は、私たち町民にとって大きな懸念材料である。こうした中、町民の皆様から、災害時の避難に関する切実な声を聞いた。「安心して避難できる場所がない」と。町民の安全を守るための町の取組みや見解を伺う。

防災安全課長 全ての指定避難所は土砂災害を受ける危険性はない、しかし一部を除いては水害の危険性がないとは言えないと認識しているが、これら避難所は3階建てであり垂直避難が可能。避難所として適していないとは考えていない。

みやきの秋、やさしく彩る季節

秋の深まりとともに、みやき町にも、やわらかな陽射しと澄んだ空気が広がっています。

大きく枝を伸ばす木々は黄金色に輝き、訪れる人を包み込むように立っています。その足元では、小さな花が、秋風にそつと揺れながら命の色を添えています。

町内の神社では、境内を彩る風車が軽やかに回り、参拝者の笑顔を誘います。



手水舎には、美しく模様が施された玉が静かに水に浮かび、訪れる人々に心の清らかさを思い出させてくれます。

自然と文化が織りなすこの季節、何気ない風景の中にも、みやき町ならではの温もりが息づいています。

どうぞ皆さんも、町を歩きながら、秋の香りや音を感じてみてください。

身近な景色の中に、新しい発見や小さな幸せがきっと見つかります。



表紙写真紹介

キラリ☆多 みやきびと



みやき町でキラリ☆と光る活動をして
いる方にスポットを当てて紹介してい
きます。

今のお仕事を教えてください

**みやき町でどんな活動をしたいで
すか**

コミュニティナースは、地域で「人と
つながり、まちを元気にする」活動を
します。具体的には、健康な時期から



堺 洋子さん



住民と関わり健康相談、イベントの企
画などを通じて、住民の心身の健康と
社会的つながりを育みます。その特徴
は、病院ではなく地域に身近な存在と
して活動し、住民の「つぶやき」に寄
り添いながら、ウェルビーイング（心
身・社会的健康の実現）を目指すこと
です。

今後の目標を教えてください

「ここに来れば、不安や悩みから解放
される」そんな居場所づくりをするこ
とが、今1番の目標です。「コミュニテ
ィナースの活動に共感してくれる「仲間
作り」をし、世代間交流や町おこしイ
ベントの開催に繋がっていただければと思っ
ています。

次回12月定例会の予定 午前9時30分開会

月	火	水	木	金
1	2 本会議 (開会)	3 休会	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)
8 本会議 (一般質問)	9 休会	10 本会議	11 本会議 (閉会)	12
15	16	17	18	19
22	23	24	25	26
29	30	1	2	3

※この日程等は予定であり変更となる場合があります。

最新の日程は、みやき町ホームページまたは
議会事務局（94-5728）でご確認ください。

編集後記

酷暑の夏を演出したセミの大会唱
もようやく終わり、気がつけば夜に
は秋の虫たちがオーケストラを結成
しています。季節の移ろいは早いも
のですね。9月定例会もあつという
間に終わり、「また議会だよりのめ切
が……」と編集部は冷や汗をかいて
おります。

議会の内容はどうしても固くなり
がちですが、実際の議場では、時に
笑いもあり、時にシーンと静まり返
る場面もあり、なかなかドラマチッ
クです。誌面ではその全部をお伝え
できないのが残念ですが、少しでも「へ
え、こんなこと話しているんだ」
と感じていただければ幸いです。こ
の議会だよりが、みなさまの食卓や
お茶の時間のお供になれば嬉しいで
す。そして「ここはもつと詳しく知

◎広報編集委員会

委員長 西村健一郎
副委員長 末次 優
委員 益田 清
委員 牟田 秀文
委員 大石 安弘
委員 目野さとみ

りたい」「この議題はどうなっている
の？」という声をぜひお寄せくださ
い。みなさまの声が、議会をもっと
面白く、そして頼もしくしていきま
す。次号では、また新しい実りをお
届けできますように、私たち議員一
同頑張ります。どうぞ秋の夜長を楽
しみつつ、お体にお気をつけてお過
しください。（西）

